

令和8年度

施政方針



平井 一三市長は、2月25日(水)開会の第2回筑紫野市議会定例会において、令和8年度の市政運営の基本的な方向を示す施政方針演説を行いました。

平井市長は、第七次総合計画に掲げる「日本一住みたいまち筑紫野」の実現に向け、前年度から約37億8千万円増となる約466億7千万の予算を計上しました。

施政方針の全文は市ホームページをご覧ください。 問 企画政策課 ID 11235

人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

- ▶ 親子の交流や、育児相談、情報提供などの機能を備えた地域子育て支援拠点の整備を加速
- ▶ 公立保育所での5歳児健診をモデル的に実施
- ▶ 居場所のない子どもたちに「第三の居場所」を提供
- ▶ 小中学校の体育館および武道場への空調整備
- ▶ 小学校の水泳授業を民間専門クラブへ外部委託
- ▶ 小中学校給食費の完全無償化
- ▶ 大規模校の増改築や長寿命化改修



自然をまもり未来を育むまちづくり

- ▶ 小中学校や総合保健福祉センターなどの照明設備LED化
- ▶ 電動バイクを導入し、公用車運用の効率化と省エネルギー化の推進
- ▶ リチウムイオン蓄電池などの回収拠点の拡充
- ▶ 上水道、下水道の老朽管更新に伴う耐震化の推進



市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり

- ▶ スポーツ施設整備基本構想に基づいた、総合スポーツ施設の整備検討
- ▶ 天拝中学校をモデル校とした休日の中学校部活動の地域展開実施
- ▶ 竜岩自然の家ログハウスの空調整備
- ▶ 国指定史跡前畑遺跡保存活用計画の策定に着手



強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

- ▶ プレミアム付き地域活性化商品券を継続して発行
- ▶ シカ用電気柵を新たに助成対象に加え、補助単価の引き上げなど対策の強化
- ▶ 大川市と連携した地元産木材の普及促進
- ▶ 天拝公園内トイレのユニバーサルデザイン化
- ▶ 九州自動車道筑紫野バス停周辺に案内看板を設置



安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

- ▶ 犯罪被害者等見舞金制度を創設
- ▶ 総合公園の老朽化したローラースライダーなどの遊具の更新と、駐車場の拡充
- ▶ AIデマンド交通の西鉄南ヶ丘線沿線など、二日市地域への展開
- ▶ コミュニティバスつくし号の両回り化
- ▶ ハザードマップの全面的な改訂



支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり

- ▶ 介護専門職の育成や定着に取り組む事業者を支援する、介護人材確保事業の実施
- ▶ 住まい相談支援員を配置した、居住相談支援事業の実施
- ▶ 経済的な理由で学びの機会が損なわれることのない、子どもの学習支援事業の実施



政策実現のための市民目線の行財政運営

- ▶ 9コミュニティ体制によるまちづくり
- ▶ 二日市コミュニティセンターの整備
- ▶ 天拝小学校の校舎内にコミュニティ活動拠点を整備
- ▶ オンラインで手続きの予約や決済を行えるホームページをまとめたポータルサイトの新設
- ▶ 市役所庁舎内にマルチコピー機(行政キオスク端末)を設置
- ▶ シティブランディングやシティプロモーションを戦略的に展開

